

科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会

薬学分野の大型研究計画評価小分科会（第1回）

議事要旨

日時 平成28年4月18日（月）10：00～11：40
会場 日本学術会議 5-A（2）会議室
出席者 清木委員、長野委員、平井委員、奥委員、堅田委員、菅野委員、橋田委員、望月委員、安原委員、佐治委員（スカイプ）
陪席 日本学術会議事務局（石井参事官、松宮参事官補佐、大橋参事官付、鈴木参事官付、大庭参事官付）

配布資料

- 資料1 学術大型研究計画における審査・評価プロセスについて
- 資料2 評価小分科会における審議事項等
- 資料3 第23期マスタープラン策定に係る利益相反に関する考え方
- 資料4 今後のスケジュール
- 資料5 薬学分野の応募提案一覧・評価用紙【非公開資料】
- 参考1 小分科会委員名簿
- 参考2 第23期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針
- 参考3 公募要領
- 参考4 学術研究領域コード表

議 題

- 1) 役員の選任について
互選により、委員長として清木委員が選任された。副委員長として橋田委員が、幹事として望月委員及び安原委員がそれぞれ委員長より指名され、出席委員から承認された。
- 2) 評価小分科会における審議事項等
学術の大型研究計画検討分科会委員でもある長野委員より、資料について説明があった。

3) 利益相反についての考え方の確認

学術の大型研究計画検討分科会委員でもある長野委員より、審査における利益相反についての考え方の説明があった。

4) とりまとめの審議の方法の決定

本小分科会では、各委員による評価の後に行う、各委員の評価が利益相反の点から問題がないことの確認、区分Ⅰ（学術研究領域で融合領域（コード32-1、33-1、34-1）を選択した提案を除く）の順位づけ及び応募提案（区分Ⅱ）のコメント案のとりまとめの審議の方法を、十分に各委員の意見を確認した上で、委員長一任とすることとした。

また、副分野を選択している提案について、副分野での評価を依頼するか議論し、提案43については本小分科会のみで評価し、提案44については基礎医学分野に評価を依頼することとした。

5) 今後のスケジュール

資料に沿って確認が行われた。

また、第1回の議事要旨については、委員長一任とすることとした。